新型コロナウィルス感染症拡大にかかわる実態調査(病院)

調査期間:令和2年9月15日~9月28日

調査病院数:66 回収数:54 回収率:82%

問1 感染症患者の受け入れ施設について

受入病院 (複数回 答)	病院数	感染症指 定医療機 関	入院協力 病院	帰国者・ 接触者外 来協力病 院		回答なし
全体	54	10	8	5	35	1
土件	54	19%	15%	9%	65%	2%

感染症患者の受け入れ施設							
感染症指定医療機関	19%						
入院協力病院	15%						
帰国者・接触者外来・・	9%						
受入施設ではない		65%					
回答なし	2%						
	'	'					

コロナ関係病院	受け入れ施設でない
20病院	35病院

コロナ関係病院 感染症指定医療機関

入院協力病院

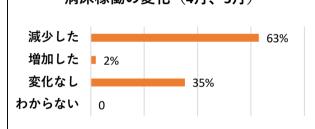
帰国者・接触者外来協力病院

問2 病床稼働の変化について(4月、5月)

病床稼働	病院数	減少した	増加した	変化なし	わからない
全体	54	34	1	19	0
土件	54	63%	2%	35%	0

※54施設のうち、減少したのは34施設で全体の63%を占めた。 増加した1施設と、変化なしが19施設で全体の35%であった。

病床稼働の変化(4月、5月)



クロス集計:減少 コロナ関係と受け入れなしの比較

	減少した	増加した	変化なし	わからない	計
コロナ関係	18	0	1	0	19
受け入れなし	16	1	18	0	35
	34	1	19	0	54

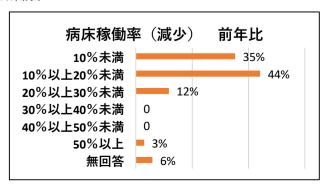
【減少】 前年比

病床	病院数	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上	無回答
稼働率	1内1元数	10%木満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	50%以上	無凹合
全体	34	12	15	4	0	0	1	2
土冲	34	35%	44%	12%	0	0	3%	6%

※「減少した」と回答した34施設のうち、15施設が10%以上20%未満の減少と

回答し全体の44%を占めた。10%未満が12施設(35%)、20%以上30%未満が

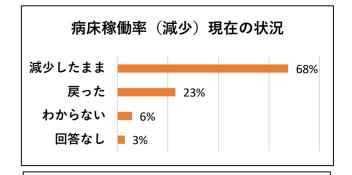
4施設(12%)、50%以上が1施設(3%)であった。



【減少】 現在の状況

病院数	減少したまま	戻った	わからない	回答なし
34	23	8	2	1
54	68%	23%	6%	3%

※現在も減少したままと23施設が回答し全体の68%を占めた。



外来診療の制限

93%

問3 外来診療の制限について

	:診療 限	病院数	制限あり	制限なし	無回答
	体	54	3	50	1
	. 14	54	6%	93%	1%

※3施設(6%)が制限あり、50施設(93%)が制限なしであった。

制限の期間については2施設が約21~30日との回答で、

残り1施設は回答なしであった。



制限あり 6%

制限なし

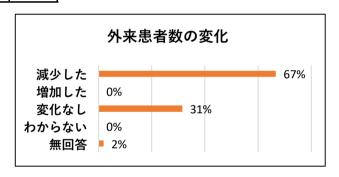
クロス集計:減少 コロナ関係と受け入れなしの比較

	減少した	増加した	変化なし	無回答	計
コロナ関係	17	0	0	0	17
受け入れなし	19	0	17	1	37
	36	0	17	1	54

問4 外来患者数の変化について

病床稼働	病院数	減少した	増加した	変化なし	わからない	無回答
全体	54	36	0	17	0	1
土件	54	67%	0%	31%	0%	2%

※54施設のうち、減少したのは36施設で全体の67%を占めた。 変化なしが17施設で全体の31%で無回答が1施設であった。



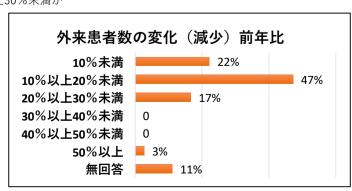
【減少】 前年比

病床 稼働率	病院数	10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上	無回答
全体	36	8	17	6	0	0	1	4
主件	30	22%	47%	17%	0	0	3%	11%

※「減少した」と回答した36施設のうち、17施設が10%以上20%未満の減少と

回答し全体の47%を占めた。10%未満が8施設(22%)、20%以上30%未満が

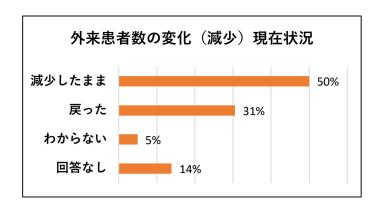
6施設(17%)、50%以上が1施設(3%)であった。



【減少】 現在の状況

病院数	減少したまま	戻った	わからない	回答なし
36	18	11	2	5
30	50%	31%	5%	14%

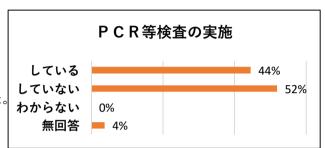
※現在も減少したままと18施設が回答し全体の50%を占めた。 11施設が戻ったと回答し全体の31%であった。



問5 PCR等検査を実施しているか

PCR検査	病院数	している	していない	わからない	無回答
全体 54	54	24	28	0	2
土件	54	44%	52%	0%	4%

※54施設のうち、実施しているのは24施設で全体の44%であった。 実施していないのが最も多く28施設で全体の52%であった。

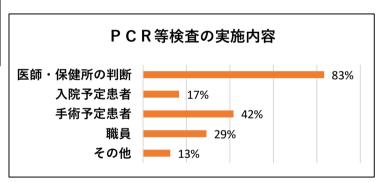


PCR等検査の実施内容(複数回答)

実施内容	実施病院数	医師・保健	入院予定患	手術予定患	職員	その他
複数回答	天旭州阮奴	所の判断	者	者	報具	-C 07 IB
全体 24		20	4	10	7	3
土件	24	83%	17%	42%	29%	13%

※その他の内容

- ・患者
- ・県外からの面会者で主治医が必要と判断した人
- ・県外からの里帰り分娩希望の入院予定者

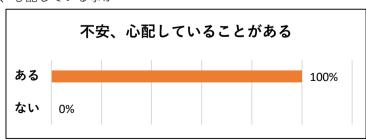


問6 不安、心配している事

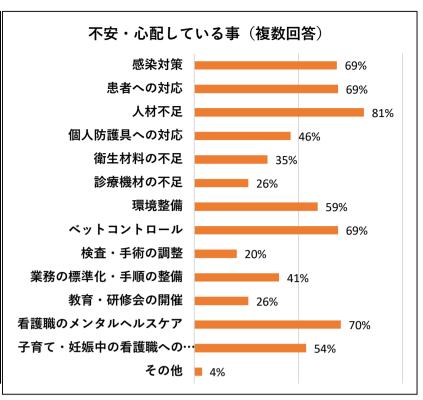
不安	病院数	ある	+>1>
心配	/内/比数	める	ない
全体	54	54	0
土件	54	100%	0%

※受け入れ施設であるなしにかかわらず、全施設が不安、心配している事が

あると回答した。



不安・心配(複数回答)	全	体
あると回答した病院数	54	100%
感染対策	37	69%
患者への対応	37	69%
人材不足	44	81%
個人防護具への対応	25	46%
衛生材料の不足	19	35%
診療機材の不足	14	26%
環境整備	32	59%
ベットコントロール	37	69%
検査・手術の調整	11	20%
業務の標準化・手順の整備	22	41%
教育・研修会の開催	14	26%
看護職のメンタルヘルスケア	38	70%
子育て・妊娠中の看護職への配慮	29	54%
その他	2	4%



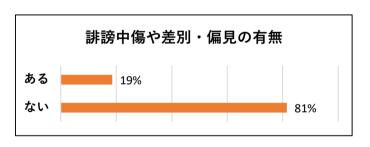
※その他の内容

- ・平均在院日数、在宅復帰率、夜勤時間72時間以内など入院基本料にかかわる要件がクリアできるか
- ・PCR検査の対応を依頼された場合の準備、受け入れ時間帯等限られた人員の中でどう対応するか

問7 誹謗中傷や差別、偏見の有無

誹謗中傷 差別・偏見	病院数	ある	ない
全体	54	10	44
土件	34	19%	81%

※10施設(19%)が誹謗中傷や差別、偏見があったと回答している。



誹謗中傷 コロナ関係と受け入れなしの比較

	あり	なし	計
コロナ関係	8	11	19
受け入れなし	2	33	35
計	10	44	54

P=0.00201819718689144
Fisher | P<0.01 significant difference**

【内容】

- ・妻が介護施設に勤務しておりコロナの入院患者が入ったら仕事を休むように言われた
- ・感染病棟看護師であることが夫の職場に知られると、夫の職場の方から夫への出勤制限をかけるような発言をされた
- ・秋田市内の保育園から拒否された
- ・当初、病院に勤務する医師の子供を保育園で預かってくれなかった
- ・病院に勤務している事により家族が通う施設(保育園等)で感染を他者にさせる事はないのかという言葉を言われた
- ・商業施設から入店拒否された
- ・疑い患者の対応時、職員内で「汚い手で触るな」と一言
- ・陽性患者の退院後、感染病棟のスタッフが自分の部署に戻り数日健康観察期間を休んだにもかかわらず周りのスタッフから「PCRしなくていいのか」など言われた
- ・実際受け入れがないのに、陽性患者が入院していると噂された

問8 帰宅せずホテル等に宿泊した看護職員の有無

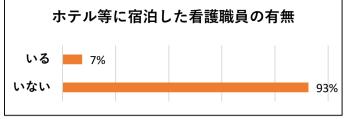
ホテル宿泊	病院数	いる	いない
全体	54	4	50
土件	54	7%	93%

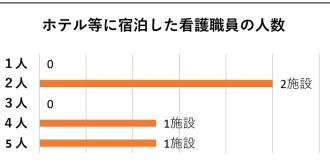
※帰宅せずホテルなどに宿泊した看護職員がいると回答したのは 4施設(7%)であった。

帰宅せずにホテル等に宿泊した看護職員の人数

ホテル宿泊 人数	病院数	1人	2人	3人	4 人	5 人
全体	1	0	2	0	1	1
土件	4	0%	50%	0%	25%	25%

※宿泊した看護職員は4施設のうち2施設が2人、1施設が4人、他の1施設が5人の 計4施設13人であった。





【病院としての対応】

- ・宿泊施設の確保
- ・施設の一部を寮として無料で利用してもらった
- ・休床している病棟の個室を整えて開放した
- ・病院でアパートを準備し、昼食の提供、寝具、電化製品の提供をした

問9 妊娠中の看護職員への配慮

		妊娠中の和	妊娠中の看	
妊娠中の	病院数	ある	ない	護師いない
看護職員	/内 阮	める	<i>4</i> 0	
全体	54	18	20	16

妊娠中の	病院数	ある	+>1>	
看護職員	1内 1元 致	a) 3	ない	
全体	38	18	20	
土件	30	47%	53%	

※妊娠中の看護職員への配慮をした事があると回答したのは

18施設(33%) であった。

配慮した内容

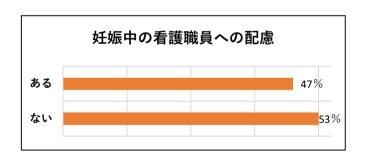
内容	病院数	配置転換	業務内容 調整	夜勤業務 の制限	時間外の 制限	母性連絡 カード利用	その他
全体	18	4	10	6	5	1	4
土件	10	22%	56%	33%	28%	6%	22%

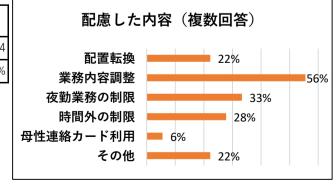
※配慮した内容として業務調整内容が10施設(56%)と最も多く、

次に夜勤業務の制限、時間外の制限の順であった。

【その他の内容】

- ・受け入れ病棟で患者担当にならない為の勤務調整
- ・感染病棟への勤務はさせない
- ・不安、心配等を表出できる場を開催
- ・休憩時間の調整





問10 不安を抱いている看護職員の有無

不安の 有無	病院数	いる	いない	わからない
全体	54	51	0	3
土件	54	94%	0%	6%

※新型コロナウィルス拡大に伴い、51施設(94%)で不安を抱いている

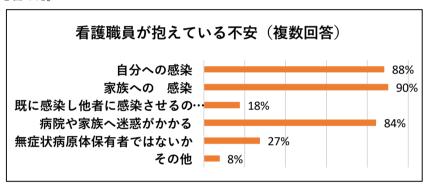
看護職員がいると回答している。

看護職員が抱えている不安

内容 複数回答	病院数	自分への感染	家族への感染	既に感染し 他者に感染 させるので は	病院や家族 へ迷惑がか かる	無症状病原 体保有者で はないか	その他
全体	51	45	46	9	43	14	4
土件	51	88%	90%	18%	84%	27%	8%

※不安の内容として家族への感染、自分が感染するのではないか、

病院や家族に迷惑がかかるが、それぞれ80%以上を占めた。



不安を抱えている看護職員の有無

94%

いる

わからない = 6%

0%

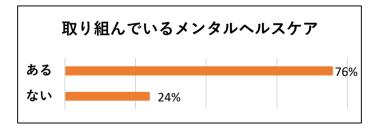
いない

【その他の内容】

- ・患者が気の毒で自分だったらと思うと寝られなくなった
- ・県外にいる家族と会えない
- ・県外にいる子供がメンタル不調を抱えたり等、感染拡大地域との往来制限により不安が拡大
- ・感染したらどのような保障をしてくれるのか

問11 取り組んでいるメンタルヘルスケア

メンタルへ ルスケア	病院数	ある	ない
全体	54	41	13
土件	34	76%	24%

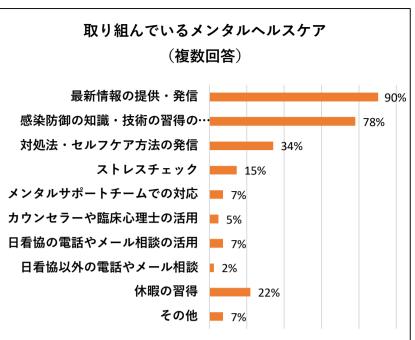


※新型コロナウィルス拡大に伴うメンタルヘルスケアに取り組んでいると

回答したのは、41施設(76%)であった。

取り組んでいるメンタルヘルスケアの内容

, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
メンタルヘルスケアの内容(複数回答)	全	体
あると回答した病院数	41	100%
最新情報の提供・発信	37	90%
感染防御の知識・技術の習得の仕組み	32	78%
対処法・セルフケア方法の発信	14	34%
ストレスチェック	6	15%
メンタルサポートチームでの対応	3	7%
カウンセラーや臨床心理士の活用	2	5%
日看協の電話やメール相談の活用	3	7%
日看協以外の電話やメール相談	1	2%
休暇の習得	9	22%
その他	3	7%



※その他の内容

- ・関わる看護師、受入病棟で働く看護師、看護補助者など対象に情報共有や思いを表出するための場を開催
- ・院内相談窓口の設置
- ・現在メンタルヘルス対策のワーキングを立ち上げ取り組み方法を検討中

問12 今後の課題

- ・感染者が発生、受入となった時を想定してはいるものの人員の確保と配置、そしてスタッフに対する多方面からの フォロー体制の整備が課題
- ・ソフト面での不安ももちろんだがハード面での整備、対策が難しい
- ・看護職員数に余裕のない中での休暇や業務のやりくり
- ・発熱患者の増加に伴う診療体制の整備と要員配置
- ・インフルエンザ流行に備えた(コロナ対応も含めた)病院としての相談、外来、検査体制の整備
- ・各部署から感染病棟勤務を出している為、他のスタッフの夜勤回数の増加や負担が増えることが予測でき、 人員確保や応援体制の整備
- ・発生時のスタッフ管理 (職員補充も含め)
- ・冬期に増加する感染症対策の場所と人員確保
- ・感染者がでた場合のゾーニング、看護師の勤務調整
- ・精神科という特殊性上、患者の病気への認識、理解度の問題等、ひとたび感染者が出ると感染拡大を抑え込むのが難しい
- ・精神科病院で患者が発生した場合の対応が明確化されていない
- ・インフルエンザの流行、スタッフのGOTOキャンペーンに対する意識
- ・インフルエンザの流行期を迎えるにあたり外来の対応が複雑になる
- ・マスク、ディスポグローブ等の入荷が未定で長期化により備品の不足に伴う看護への影響
- ・看護現場に必須の手袋が入手困難になってきていて物不足が深刻。手袋は節約できないのでこの現状を県に伝えてほしい
- ・感染防護具、医療資材の確保
- ・対応が長期にわたることにより従来の形式にとらわれない教育の在り方
- ・職員のメンタルサポート
- ・これまで我慢していた帰省について家族や職員の気持ちや不安をどうサポートするか
- ・患者減少により経営状況が逼迫しているので経営改善にむける対策
- ・病院への受診からの感染不安から外来患者が減少しておりこのままだと医療収入も減少していくのが課題
- ・PCR採取、インフルエンザに関して医師会、県など統一されていない為、職員の中でどうするのかという不安
- ・県及び地域医師会の方針にはかり院内の体制の整備、シミュレーション、実践